

イスラエルでのユダヤ・アラブ共学共存推進支援活動について

ご講演と座談会のご案内

今秋、長らくイスラエルでユダヤ人とアラブ人の青少年の共学共存推進支援活動に関わってこられた山崎智昭氏が来日されます。

一燈園では“争いのない地球の平和”のために、2009年以降、山崎氏ら現地NPOを通じて、ユダヤ人とアラブ人の子供たちが同じ学校で共に学ぶ施策（「ハンド・イン・ハンド校」運動）の支援を続けてまいりました。そのご縁で、この度は来日された山崎氏を囲んでご講演ならびに座談会を開催いたします。

まさに戦禍の傍で、来るべき平和を祈って続けられる草の根の活動について、より多くの皆様と共有したいと願います。ぜひご参加ください(事前申込要)。

※ なお、現地の戦況悪化等やむを得ない事由により山崎氏の来日が見送られた場合、当イベントは中止になります。予めご了承ください。

日時：**11月11日**（月）午前**10時**～（9時30分～受付）

場所：一燈園「いらん寮」 京都市山科区四ノ宮柳山町
* 京阪 四宮駅より徒歩約7分



交通案内

参加費：無料

主催：ユダヤ・アラブ青少年共学共存推進支援一燈園事務会（一燈園本部事務所内）

当日のプログラム

午前10時00分～西田多弋止（一燈園）の挨拶と講師紹介

午前10時10分～（約50分）山崎智昭氏 ご講演

午前11時10分～（約40分）座談会

座談会パネリスト：山崎 智昭（としあき）氏

中村 暢晃（のぶてる）氏（千里天神 宮司）

岩本 浩太郎氏（中外日報社 記者）

西田 多弋止（一燈園 禱座）

ご講演テーマ：「次世代の共学共存の活動の方向をどうするべきか」（仮）

私のイスラエル人生50年の流れを簡単にお話しし、その中で共学共存の活動をどのように体験して来たか、その結果、現在どのような現場で成果を得たかなどをお伝えしたいと思います。また、ユダヤ教の古くから教えて日本人の心に響く話なども幾つかご紹介できたらと思っています。（山崎氏）

講師略歴：

イスラエル在住50年、イスラエル政府公認観光ガイド。現地のNPOユダヤ・アラブ青少年共学共存推進日伊支援会の創始者で、機関紙「ケレン・ハオール」編集委員。日本のテレビ局のドキュメンタリー番組やイスラエル国営テレビの番組、書籍『われら地球市民：世界に飛びだした日本人』（共同通信社、1990年）等でも、その活動が紹介されてきた



参加お申込先（一燈園事務局内）ユダヤ・アラブ青少年共学共存推進支援
一燈園事務会（略称：ハンドインハンド支援）受付係

電話：075-581-3136、FAX：075-581-3139

メール：office@ittoen.or.jp

※ 件名に「ハンドインハンド講演会参加希望」とお書きの上、お名前、ご連絡先、参加人数をお知らせください